

こすもす

発行日：令和3年12月15日
 発行者：市原市立中央図書館
 Tel：0436(23)4946
<http://www.library.ichihara.chiba.jp>



中央図書館では開館30周年イベントを実施しました。
 本号では各イベントや展示の様子をお伝えします。

「あ！見つけた！！いちはらの宝“本”30選」



これぞ！「いちはらの宝」と思う本を、
 みなさんに投票していただき決定いたしました。
 30冊の「いちはら」をご覧ください！
 総投票数は624票でした。

No	『タイトル』 著者 等	No	『タイトル』 著者 等
1	『出発進行!里山トロッコ列車 小湊鐵道沿線の旅』 かこさとし//作 絵 【64票】	2	『市原市の昭和 写真アルバム』 (いき出版) 【41票】
3	『ちび象ランディと星になった少年』 坂本小百合//著 【33票】	4	『小湊鐵道の今昔 レールは人生を乗せて』 遠山あき//著 【31票】
5	『目で見る市原市の100年 市原市全域』 鈴木仲秋//編集委員代表 (郷土出版社) 【28票】	6	『チバニアン誕生 方位磁針のN極が南をさす時代へ』 岡田 誠//著 【25票】
7	『地磁気逆転と「チバニアン」 地球の磁場は、なぜ逆転するのか』 菅沼悠介//著 【22票】	8	『小湊鐵道フォトさんぽ ローカル線の原風景に会う』 中井精也//著 【21票】
9	『私たちの市原市』 (市教育委員会) 【19票】	10	『まぼろしの上総国府を探して 解けるか?1300年の古代ミステリー』 たからしげる//著 【16票】
11	『千葉の怖い話 亡霊たちの集い』 牛抱せん夏//著 【16票】	12	『私たちの養老川』 地引春次//著 【16票】
13	『小湊鐵道のあけぼの 流紋』 遠山あき//著 【16票】	14	『まんが市原の歴史』 地域経済文化政策委員会//編集 鶴岡浩司//作画 倉知篤彦//作画 【15票】
15	『千葉県市原市地名集』 市教育委員会//編集 【14票】	16	『女神様は松がきらい いちはら昔話』 酒井登志生//著 【14票】
17	『養老川名人紀行 18名人の SATOYAMA Life と出逢う旅 旅の感動は出逢いにあり』 千葉日報社//著 【13票】	18	『小湊鐵道と養老川 渓流と沿線のふるさと讃歌 石川松五郎写真集』 石川松五郎//著 【13票】
19	『更級日記上洛の記千年 東国からの視座』 和田律子//編 福家俊幸//編 【13票】	20	『日本人の知らない美しい日本の見つけ方』 デイモンベイ//著 【11票】
21	『更級日記 日記に綴られた平安少女の旅と物語への憧れ』 濱野京子//著 佐竹美保//絵 【11票】	22	『市原のあゆみ』 (市原市) 【10票】
23	『深沢幸雄 市原市所蔵作品集』 深沢幸雄//[作] (市原湖畔美術館) *館内閲覧のみ 【10票】	24	『房総の縄文大貝塚・西広貝塚』 忍澤成視//著 【9票】
25	『「王賜」銘鉄剣概報 千葉県市原市稻荷台1号墳出土』 市教育委員会ほか//編集 【9票】	26	『市原のまつり』 (市教育委員会) 【9票】
27	『いちはら歴史の散歩道』 青柳至彦//著 【9票】	28	『ジェフユナイテッド市原・千葉オフィシャルイヤーズブック』 【9票】
29	『市原市史』 市教育委員会//編集 【8票】	30	『自然探訪いちはら』 市原市自然ガイドブック刊行委員会//編著 【8票】

図書館の思い出を発信！



Twitter、館内での発信
用紙にて募集しました

幼ながらに父に初めて自分のカードを作ってもらった記憶がある図書館。それから早何十年、カードとともに歳を重ねましたが、定期的に通って児童コーナーから青年、雑誌、小説などたくさんのお本とその中には千差万別の世界に出逢わせてもらえたこと、感謝しかありません。これからも思い出を増やし続けていきたいです。(オレンジハニー さん)



物心ついた頃から本を読む場所は中央図書館でした。朝から、蛍の光がなるまで本を読むこともざらでした。あの大きな図書館にいると自分が興味をもたなかった本まで手を伸ばすこともできました。いまでは、仕事でそんな贅沢な時間を過ごすことはできませんが読書といえばあの図書館であることは変わりません。(イチョウを啜えた鶯 さん)

娘が小さい頃よく通いました。たくさんのお話を読み聞かせて、図書館にはたくさんお世話になりました。そんな娘も自分で読むことができるくらい大きくなりました。今でもよく図書館を使わせてもらってます！(ぶんぶん さん)

幼い頃親によく連れて行ってもらってたくさん絵本を借りた思い出が詰まっている図書館。市原市立中央図書館が30周年！おめでとうございます。私と同年で誕生日も近い！(ゆるすみす さん)

その他にも、たくさんの御応募をいただきました。ありがとうございました！



中央図書館は30周年を迎えました

1991年11月27日に誕生した中央図書館は、おかげさまで今年、30周年を迎えました。

今後も公共図書館として市民の誰もが利用しやすく、また、市民にとって身近な存在となる図書館を目指して取り組んでまいります。

これからも中央図書館を御利用下さい。



本と図書館に関する 今日は何の日 「12月16日」

12月16日は、「紙の記念日」です。1875年（明治8年）12月16日に、紙を作る「抄紙（しょうし）会社」（後の王子製紙株式会社 現・王子ホールディングス株式会社の前身）が東京・王子の工場の営業運転を開始した日にちなんだものだそうです。

この「抄紙会社」は、2024年度に刷新される1万円札の肖像に採用される「渋沢栄一」（1840～1931年）が大蔵省紙幣寮から民間企業として独立させたものです。日本の近代化には、人々の知識を高める書籍や新聞などの印刷物の普及が必要で、そのために安価で大量印刷が可能な洋紙を国産化すべきと考えたそうです。

現在、情報技術の発展に伴い、紙からデジタルへの変化が進んでいますが、ぬくもりのある「紙」の良さをいかし、使い続けられて欲しいですね。

今年もあと少し。忙しい日々かと思いますが、「紙」に思いをはせ、本を手に取り手触りや重さを感じ、表紙を眺め、頁をめくり、ゆっくりと文章を読んで見てはいかがでしょうか。

(Y)